

2021年3月16日（火曜）

全労金2021春季生活闘争ニュース・第25号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
今こそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

《合意速報No. 9》

東海労組が関連会社との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

東海労組は、3月16日14時から、関連会社と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		東海労組（関連）		東海労組（関連）	
		要 求		回 答	
		正社員	契約社員	正社員	契約社員
安定雇用	無期転換権	—	要求	—	応じられない
基本賃金		定昇	定昇	要求通り	要求通り
年間一時金		3.0	0.5	2.9	0.4
昨年実績		3.0	0.5	3.0	0.5
職場環境	その他	生理休暇毎潮2日 結婚休暇・忌引休暇を金庫と同一		生理休暇：要求通り 結婚・忌引休暇：要求通り	

団体交渉において、関連会社からは「全社員の生活を守るために闘おうという貴労組の姿勢に敬意を表したい。わが社は昨年度に続き、下期に収支計画を見直してきたが、コロナ禍において、各センターにおける受託件数が著しく減少したことが大きな要因である。今年度の着地点は昨年度決算時の4分の1以下という非常に大きな落ち込みとなる。これは金庫の融資純増実績を鑑みれば、無理からぬことと見ている。一方、来年度の収支計画は、金庫の事業計画・推進計画を勘案して立案するということになり、今年度の当初計画値を若干下回るようになると考えている。こうした情勢を踏まえ、貴労組からの要求について真摯に検討を重ね、収益状況に応じた水準を大きく超える回答を出させていただいた。これは社員のコロナ禍の大変な中での2020年度の努力と頑張りに報いること、2021年度の更なる頑張りに期待して、ということを理解いただきたい。雇用に関する環境整備を含め、社員の皆さんの顔を思い浮かべ、精一杯の回答とさせていただいた」等の見解が表明されました。

森本闘争委員長は、「回答結果は、組合員の割合が多くない中で、労働組合の要求主旨・想いを十分に受け止め、理解いただき、真摯に要求に向き合っていた結果と受け止めている。一時金について、満額の回答ではなかったものの、諸休暇に関するすべての要求項目において、金庫の制度と同一となるよう回答いただけたことは、昨春闘に続き、大きな前進であると受け止めたい。交渉では、経営を取り巻く環境から、回答に対する社員への想い、労働組合からの要求項目に対する経営の考え方、サービスを取り巻く経営環境、今後の収益計画等、交渉を通じて社員に対する経営の思いも伝えていただくと受け止めている。労働組合は、安心して働き続けられる職場、労金サービスで働くことに自信と誇りを持てるような職場を作っていきたいと考える。そのために、労金サービスで働く仲間の組合への加入をさらに進めていきたいと考えている。交渉の結果については、東海労金サービスの組合員はもちろん、東海労働金庫の組合員に対しても、回答の背景や労働組合の判断も含めしっかりと伝えていきたい」等を表明しました。

単組は、①年間一時金について交渉を通じてコロナ禍における社員の奮闘に対する感謝の意示されたこと、②諸休暇について、すべて要求通りとなったこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（7単組／3月16日17時30分現在）

近畿(金庫)・沖縄・長野・東北(金庫)・東北(関連)・北海道・北陸・東海(金庫)
東海(関連)

以 上